



Y's Men International

Japan East Region 2021-2022 理事通信

主題 “Think for the next generation.” 「私たちは次の世代のために何ができるか？」
スローガン “We are stronger together than we are alone.” 「絆を深める時」

理事メッセージ

2021年-2022年東日本区理事
大久保知宏（宇都宮）



新年度が始まり2か月が経過いたしました。新型コロナウイルス感染症による非常事態宣言、まん延防止措置が各地に出され、皆さんの生活が大きな影響を受ける日々が続いています。この影響はワイズメンズクラブの活動、サポートする各地のYMCAの活動にも大きな影響を与えています。こうした環境下においても、LT委員会では、6月の区大会で開催できなかったヤングセミナーを「カフェ・ド・フレッシュワイズ」と生まれ変わらせてZoomで開催し、21名の参加がありました。（今号に別途報告があります。）また、川越クラブでは8月の強調項目であるIBC事業として、オレゴン州セイラムのクラブとのIBC例会がZoomにて行われました。川越市とセイラム市では、距離で7,793キロ、時差で8時間ありますが、その間隔を越えての交流が行われました。同時通訳のできる利根川さん、Zoomの通訳機能、それぞれにインターネット接続環境があるという条件が重なったの実現ではありますが、コロナがもたらした新しい形での交流事業とすることができます。

コロナ以前に戻ることを強く祈っているものの、その影響は長期間にわたるものと思われます。With コロナという言葉は好きではありませんが、No コロナが難しいと思う状況で私たちにできる事を模索していくことが大事だと思います。9月11・12日には、初めての試みとしてユース・ボランティアリーダーズ・フォーラムがZoomで開催されます。また、東新部、関東東部、あずさ部の部大会がZoomで開催されます。実行委員会は、最後まで対面でやることを検討したものの、まさに苦渋の決断でZoomでの開催を選択されたことと思います。ぜひ、数多くの皆さんのそれぞれのイベントにご参加いただき、実行委員会の工夫のほどをご覧いただければと思います。私たちはクラブの内側に発生しているコロナの影響だけではなく、クラブの外側の地域社会やYMCAに与えている影響にも目を向けて、コミュニケーションを通じて、絆を深め、課題を共有していくことが求められていると思います。

Asia Youth Convocation 2021 に参加して

とちぎ YMCA ユースボランティアリーダー
古谷真菜 (まなびんリーダー)



Love is Answer.

これは、2 日間の AYC に参加して私が学んだことです。

コロナ禍で世界へ行きたくても行けない今ですが、オンラインでつながること、世界を知る

ための一歩は家の中にも踏み出すことができました。世界へ目を向けると、多様な文化と多様な考えに出会うことができます。世界の問題を知り、そこから私たちには何ができるのか具体的な行動を考える。一人の意見ではなく、日本、アジア、世界の人の意見が集まるとより考えが深まっていきました。私は一度も海外へ行ったことがない日本人ですが、自分の国、自分のことだけを考えているだけでは世界は成り立たないと思いました。日本人である前に、私は Global citizens です。みんなが Global citizens の意識を持つことで、みんなで共に世界をよりよくすることができますと思います。

これからも、ワイズメンズの豊富な経験と、ユースのアイデアで、よりよい世界への一歩を踏み出していきたいです。AYC2021 に参加できたことに感謝いたします。ありがとうございました。



カフェ・ド・フレッシュワイズ開催報告

LT 委員会委員長
山下 真 (十勝)



8 月 28 日に「カフェ ド フレッシュワイズ」が Zoom を利用したオンラインで 21 名の参加で開催されました。

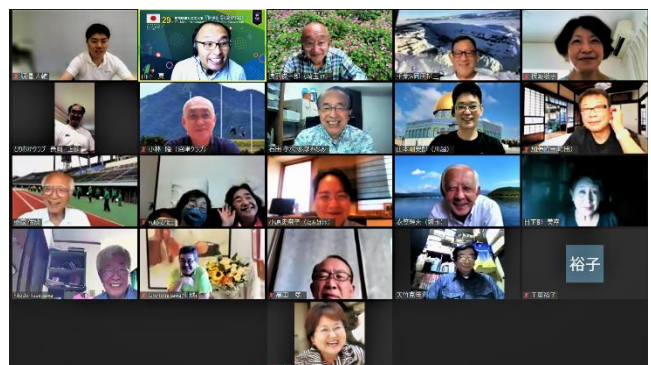
これは、第 24 回東日本区大会甲府大会がオンライン開催と

なったことから、大会期間中に予定していたヤングワイズセミナーに代わるものとして LT 委員会がおおよそ入会 5 年目のワイズ歴の浅い方の参加を呼びかけていたものです。

コロナ禍でも負けないような足腰の強い活動をどう作っていくか、「フレッシュワイズが考えるフレッシュアイデア with コロナ」というテーマで、フレッシュなメンバーもいささかそうでもないメンバーもテーマに沿っていれば言いたい放題のワールドカフェ方式による交流を行いました。

私自身の気づきの一端として「発信力」「横断的な連帯した取り組み」「改革の時」というキーワードを挙げておきたいと思います。

アフターフォローを求める参加者アンケートの回答を読みながら、それぞれの心の中に多くの気づきがあったと確信しています。



3 時間休憩もなくノンストップでカフェを終わらせた後は、有志が居酒屋フレッシュワイズに場を移し無礼講で盛り上がっていました。

Y'S SONG FEST PROJECT

東日本区担当
小川圭一（東京世田谷）



東日本区東新部は、初代部長の持田二郎ワイズが音頭をとって歌詞を集めました。

その歌詞に作曲し演奏して作られた東新部の歌は、部大会はもとより、クラブ例会などでも

歌われ、メンバーの連帯感醸成に貢献しています。また西日本区でも、各クラブ独自の曲が沢山作られ、ワイズメンズ活動に彩を与えています。

そんな音楽・歌をワイズ100周年に作ってアジア太平洋エリアで、そして世界でお祝いしよう。この運動の更なる100年に向けて作ります。

まず作詞を募集します。作詞が苦手でも、ワイズは良いなと感じる様々の体験をつぶやいて下さい。そのつぶやきを歌詞に纏める事にもチャレンジしたい。ワイズメン全員が作詞者になるのです。そのうえで、作曲者を募集します。251歳のベートーヴェン氏が候補に上がるかもしれません。なにしろ156歳のシベリウスの音楽が「いざ立て！」のワイズソングですから。

二つ目の企画は、ソングブック作り。アジア太平洋へそして世界に紹介したい愛唱歌を教えてください。ワイズの歌声ひろばで歌いましょう。例えば、日本人の原風景を描く「故郷」「赤とんぼ」。YMCAのキャンプで生まれた「幸せなら手をたたこう」。スキヤキソングでも有名な「上を向いて歩こう」。などなど。

・・・海外旅行先の街で「さくらさくら」で歓迎された思い出など、推薦理由を添えて下さい。

アンケートは右のQRコードから



東日本区からのお知らせ

ハンドブック・ロースター配布

ロースター部分で校正作業に手間取っています。クラブ会長宛に PDF ファイルで9月中旬にお届けします。

臨時代議員会報告 衣笠輝夫

日時：2021年8月28日(土)19:00～

方法：Zoomによるオンライン会議

【第一号議案】2020-2021年度東日本区会計決算報告及び監査報告承認の件 可決

【第二号議案】2020-2021年度東日本区年次報告案承認の件 可決

【第三号議案】ユース事業主任変更承認の件 可決

一般社団法人ワイズメンズクラブ国際協会
東日本区会員総会

【第一号議案】理事及び監事変更承認の件 可決

9月の主な予定

3日 国際会長推薦締め切り

11～12日

ユース・ボランティアリーダーズ・フォーラム

11日 東新部部大会

2021-2022年度 JEF 献金

柿沼敬喜 東京グリーン 30,000

関東東部部長の務めを終えて

板村哲也 東京武蔵野多摩 10,000

東日本区の発展を願って

小林 隆 沼津 10,000

1年間の事務所長を終えて

2021-2022 年度 新規入会者

| | クラブ | 入会者 | 紹介者・他 |
|-----------|----------|--------|--------------|
| 2021/7/1 | 御殿場 | 大割克美 | 前原末子 |
| 2021/7/24 | 那須 | 平山雄大 | 担当主事 |
| 2121/7/28 | 熱海グローリー | 大瀧 実 | 綾野憲夫 |
| 2021/7/28 | 熱海グローリー | 大瀧峰子 | 綾野憲夫 |
| 2021/7/1 | 東京 | 松本数実 | |
| 2021/7/6 | 甲府 2 1 | 小林秀雄 | 宮岡宏美 |
| 2021/7/10 | 松本 | 古畑雄一朗 | 金井宏基 |
| 2021/7/20 | 東京むかで | 伊坂哲雄 | 再入 |
| 2021/7/20 | 東京むかで | 福島和州太郎 | 転入 |
| 2021/7/23 | 石巻広域 | 田村誠明 | 日野 峻 |
| 2021/7/23 | 石巻広域 | 平井順子 | 清水弘一 |
| 2021/7/26 | 熱海 | 山田由美子 | 山崎英史 |
| 2021/7/26 | 熱海 | 後藤南海子 | 栗本治郎 |
| 2021/8/2 | 東京町田コスモス | 加藤祐一 | |
| 2021/8/4 | 甲府 2 1 | 伏見和之 | 宮岡博美 |
| 2021/8/18 | 長野 | 土屋龍一郎 | 堀内/小林/ 森本 |
| 2021/8/21 | 千葉ウエスト | 水沼昭子 | 高田一彦 |

YMCA 報告

日本 YMCA 同盟協力主事/担当主事
光永尚生(三島)



お世話になり感謝申し上げます。現在、各地での災害情報が氾濫しておりますが、今月の YMCA 報告では、国際協力関係と国内の情報を共有いたします。クラブ会員の

皆様とも適宜共有の上、祈りに加えて頂けましたら幸いです。

1. ハイチ地震

8月14日に発生したハイチでの大地震、死者2千人以上について世界 YMCA 同盟より緊急支援の呼びかけがあり、日本の YMCA として2千ドルを送金しました。

Camp-PerrinにあるYMCAの2つの施設が倒壊。9月に幼稚園を始める予定だった学校はひび割れ、オープンが大幅に遅れることになりました。また、YMCA コミュニティセンターも倒壊し、家具、備品、書籍、コンピュータのほとんどが壊滅状態とのことです。32万人が亡くなった2010年の大地震から復興を徐々に遂げ、世界から寄せられた多額の支援金は世界 YMCA 同盟、北米 Y の管理のもと適切に用いられてきました。翌2011年に東日本大地震があったことから、世界では、ハイチ、日本は当時、並んで世界中から祈られ、支援いただきました。

日本の YMCA としても引き続き、世界 YMCA 同盟からの情報を得てまいります。

2. ミャンマー支援

2月のクーデター後、1千名以上の市民が災害され、多くの人たちが連行されています。YMCA もスタッフ2名が連行され、その後解放されていますが、地域センターは閉館を余儀なくされ、COVID-19の急激な感染拡大と軍による医療支配、海外か

らの支援が困難であるなど、厳しい状況が続いています。YMCA 関係者も闘病を余儀なくされています。全国から寄せられましたミャンマー支援募金（717,052 円）につきましては、アジア・太平洋 YMCA 同盟と連携の上、ミャンマーのために超教派から構成された新たな組織に岡戸良子国際協力委員長、田口同盟総主事が参画し、1 万ドルの支援を内定いたしました。政情から詳細は現時点では明らかにできませんが、具体的な用途など募金して頂きました皆様に報告できる内容を今後まとめてまいります。

3. アフガニスタン支援

タリバンによる政権復権が連日報道されており、人権、教育、女性への抑圧など懸念される所です。世界 YMCA 同盟総主事カルロス・サンヴィー氏がメッセージを配信しています。

添付日本語訳をご覧ください。

アフガニスタンに YMCA はありませんが、日本の私たちは、一昨年、銃弾に倒れられた中村哲氏（九州大学 YMCA・福岡 YMCA）の尊い働きを思い起こします。

4. その他（その後の活動報告）

- ・東ティモールでの水害支援（4 月） 1 千ドル支援
- ・インドでの感染拡大と地域コミュニティ支援（4 月） 3 千ドル支援

5. 熱海大規模災害支援活動

・熱海の状況は避難者も自宅に帰った方も多く、支援のステージも変わりつつあります。

・現地入りしている、ある NPO から高齢者や子どもたちへの、健康維持や体操プログラム実施の指導者派遣の依頼が YMCA 同盟に来ました。（8 月、9 月）

・但し、コロナのこともあり静岡県内からの派遣にしてほしいとのことで YMCA 東山荘から週 1 回程度、指導者を派遣しています。（現在までに実

施しています）

・主催は現地の自治会や子ども会で協力団体が依頼してきた NPO です。現在の所、YMCA は指導者の派遣という位置づけです。

《今後のビジョン・方向性》

・上記の指導者派遣を重ねていて、自治会や子供の会の役員の皆さんとの関係作りをしています。今後、支援プログラムとして静岡県内の宿泊施設（東山荘）等でリフレッシュキャンプなどの実施の可能性を探り、具体的な提案もしているところ

です。
・静岡 YMCA の理事会に日本 YMCA 同盟から陪席参加して、現在の支援活動のご報告をし今後、リフレッシュキャンプなど実現した場合の協力の依頼を行う。

静岡 YMCA（ワイズメンズクラブ東日本区富士山部）としても全面的に協力しますとのお話を頂きました。集められた義援金などを、全額、熱海市に寄付するだけでなく静岡 YMCA の支援活動として費用的な支援、可能な範囲での人材的な支援ということを進めてくことが検討されています。

6. 熊本 YMCA 総主事交代

熊本 YMCA では、8 月 4 日に急逝されました、神保勝己総主事の後任として、8 月 19 日付けで、光永尚生氏が、次期総主事として就任されました。